

おすすめコース

横濱歴史と文化コース

1 神奈川県庁（横浜三塔・キング）

西洋建築に和の様式を融合させた「帝冠様式」による建築の、神奈川県庁本庁舎。屋上と展示コーナーは一般開放され、随時見学が可能です。館内の装飾も素晴らしく、壁や天井に見受けられる、牡丹（ぼたん）や蓮（はす）、栂榴（ざくろ）を組み合わせた「宝相華（ほうそうげ）」という花の文様は、正倉院にも取り入れられているとか。横浜三塔の一つである塔屋が建物に乗り、その堂々たる外観はまさに「キング」。建物は、国の有形文化財です。



2 横浜市開港記念会館（横浜三塔・ジャック）

神奈川県庁（キング）、横浜税関（クイーン）と並び「横浜三塔」の一つに数えられる高さ約36mの通称「ジャック」の時計塔を持つのが、国重要文化財指定の「横浜市開港記念会館」（中区公会堂）です。内部には481名収容の講堂や9室の会議室があり、市民の研修やイベントなどに利用されています。館内の廊下や階段は自由に通過することができるので、レトロな雰囲気のプロビーやステンドグラスの細かい造作を心ゆくまで見学してくださいね。



4 横浜税関資料展示室（横浜三塔・クイーン）

昭和9年建築の横浜税関は、ロマネスク様式ははじめさまざまな西欧建築様式が混在し、「横浜三塔」の一つ「クイーン」として親しまれている高さ51mの塔があります。1階にある資料展示室「クイーンのひろば」では、開港からの横浜港・横浜税関の歴史をつづるスクロール年表や貿易の変遷、麻葉やけん銃などの密輸の手法、知的財産を侵害した偽ブランド商品やワシントン条約に該当するはく製や標本等を、映像や実物展示により紹介しています。

